

# 高校生向けの遠隔配信授業「チャレンジ講座」の中継先 6校から12校に倍増

海外の有名大学で授業の無料配信が話題になっています。日本でも大学入試センター試験の見直しなど、高校と大学の教育のつながり方が問題になっています。

大分大学では文部科学省の質の高い大学教育推進プログラム（GP）「学問探検ゼミを核とした高大接続教育」の選定を契機に、平成21年度より高校生向けの授業「チャレンジ講座」を開設しています。この事業の目的は、高校生が大学の授業を受講することで、学問に対する関心を涵養し、進路選択に役立てていただくことにあります。

高校と大学の教育を結びつけるには、高校生が大学の授業をナマ受講することが有効ですが、高校と大学が遠距離にある地方では、簡単ではありません。こうした「距離の壁」を克服するため、大分大学では、授業中継設備を県内の高校に設置し、平成21年度より高校生向け授業の生中継を行っています。本年8月までの中継先は6校（安心院・大分雄城台・大分商業・大分鶴崎・中津南・日田）でしたが、設備のない高校からの希望にお応えして、新たに6校（臼杵・大分西・国東・高田・別府青山・三重総合）に設備を追加し、9月からは合計12校に対して生中継を開始しました。なお中継設備のない高校には、大学バスを使って本学に来ていただく、来学受講制度を設けています。

平成24年度は大変ご好評をいただき、16回の講座で合計2,036名（遠隔：6校1,508名、来学：延べ10校528名）の高校生が受講しました。平成23年度に比べて1.6倍の増加でした。今年度は、「文系チャレンジ講座」全回（6～7月および9～来年2月の原則として第1・3水曜日の16:30～17:30）、「理系チャレンジ講座」全8回（5～7月、9～11月、来年1～2月の原則として第1または第4水曜日の16:30～17:30）を実施しています。中継先の倍増により受講生数も大幅に増加すると予測しています。

なお本設備は双方向コミュニケーションが可能ですので、大学にいる教員が中継先高校の生徒を指名したり、遠隔の高校生がリアルタイムで質問できます。各高校の画面には、大学の教員だけでなく、テレビ会議のように、他高校の生徒の様子も映し出されます。受講生からは、「とても有益な授業でした。大学の授業に参加して、大学が身近になりました。」「他校生の様子を見ながら学ぶことができ楽しかった。」「内容が濃く難しかったが、充実した授業でした。」などの感想が寄せられています。

